

# 薬科部・ジェネリック医薬品メーカー業務停止処分 に関するアンケート結果報告

伊丹市・いたみアリオ薬局、協会薬科部代表世話人 長光 由紀（薬剤師）

## 【アンケートの背景と目的】

2020年12月に判明したジェネリック医薬品メーカー小林化工(株)のイトラコナゾール錠へのリルマザホン混入事件で、同社には製薬会社として過去最長となる116日間の業務停止処分が下された。さらに3月3日には、国が承認していない製造工程があり自主回収を繰り返していた問題で、ジェネリック医薬品最大手の日医工(株)にも業務停止命令が下された。

これらの事件（以下、本事件）は、日本の医薬品製造・供給の安全性や安定性を深く問うと同時に、政府によるこれまでのジェネリック医薬品推進の在り方も揺るがすものと言える。

協会薬科部では、本事件がジェネリック医薬品の供給体制や、我々薬剤師に及ぼす影響について調査するため、薬科部会員と県下薬局を対象にFAXでアンケートを実施したので、その結果について報告する。

## 【アンケート実施時期、方法、件数】

### ■実施時期

- ・2021年3月8日～下旬

### ■対象と方法

下記に対しFAX送信

- ・兵庫県保険医協会薬科部会員
- ・県下の保険調剤薬局から無作為抽出

### ■送信件数・回答件数

- ・送信件数440薬局
- ・回答件数127件（回答率約29%）